

シンポジウム

社寺仏閣と地域の景観

泉岳寺、忠臣蔵・・・

親しまれてきた景観を地域はどうまもるのか

2014年10月26日(日)午後3時

あの泉岳寺が危機に見舞われています。

都心の中心部にありながら、地域は不文律で高さをコントロールし、泉岳寺と調和してきました。

しかし、新しい地権者に受け継がれず高層マンション計画が進んでいるのです。

地域が守ってきた景観は、今危機に瀕しています。

京都、浅草寺の景観やまちづくりの取り組みを知るとともに

社寺仏閣が地域に果たす役割と、日本の地域景観の重要性について考えます。

基調講演

五十嵐敬喜 (法政大学名誉教授・日本景観学会会長)

パネルディスカッション

五十嵐敬喜 (前掲)

中林 浩 (神戸松蔭女子学院大学教授)

白田信重 (浅草寺景観訴訟原告団)

牟田賢明 (泉岳寺受処主事)

司会

佐藤弘弥 (フォトジャーナリスト)

会場：泉岳寺講堂 港区 高輪 2丁目 11-1 (泉岳寺駅 徒歩 3分)

定員：40名

参加費：1000円

申込み ネット：<http://form1.fc2.com/form/?id=938222>

FAX：名前、住所、電話番号、Email を記入の上
03-3441-2208 にお送りください。

電話：070-6560-8062 (泉岳寺)

問い合わせ 080-4079-5569 (吉田)

主催 国指定史跡・泉岳寺の歴史的文化財を守る会

中門に隣接し 8 階建てマンション計画が進んでいる

